

裏面 **外周編** へ続く!

### G 時刻表ライブラリー

1964年から現在までの時刻表が壁一面にずらり。ぜひ、自分の生まれた月の時刻表の表紙を探してみてください。また、1987年4月のJR発足からは、2大時刻表が並ぶ非常に珍しい光景が...

#### 注目 POINT

一堂に会した時刻表の表紙を通して、年代ごとに変遷する、鉄道の文化や歴史、両時刻表の違いなどを感じてください。

壁一面の時刻表!



会場風景

### F JR7社の制服が一堂に!

JR7社の駅長制服、JR5社の新幹線乗務員制服を展示。見れば見るほど、各社それぞれ個性的なデザインですが、皆さんはどの制服がお好きですか?

#### 注目 POINT 足元にも注目!

JR貨物は外で作業するとき安全靴を着用します。

窓からのぞいて見てね!



#### 注目 POINT

車内のステンドグラスに注目!

糸魚川市のシンボルであるユリやカワセミがあしらわれています。

### E あのトワイライトエクスプレスを実寸大で初公開!

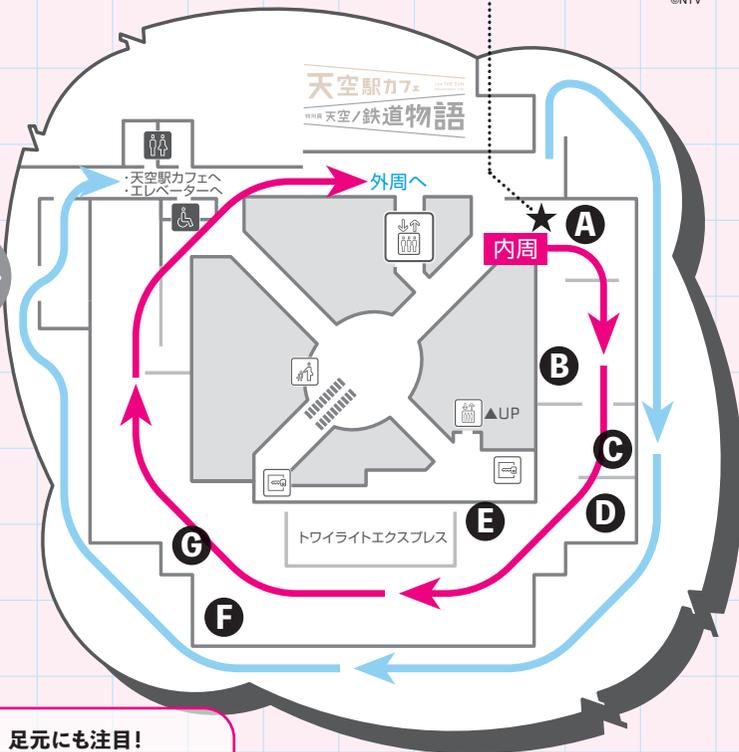


2016年12月に起きた糸魚川市大規模火災の復興支援のため、JR西日本の協力により、新潟県糸魚川市が制作した、原寸大トワイライトエクスプレスを初公開。新潟県産の木材を使って現地の職人さんの手で見事に再現しました。室内の家具や装飾は全て車内で使用されていた実物(食器類以外)、本展終了後は糸魚川市のジオパル内に展示します。

アンバサダーの中川家礼二さん、松井玲奈さんのアナウンスが聞ける!



©NTV



### A 1964年の上野駅にタイムスリップ!



改札の上に掲げられている乗車案内板は1964年10月の18時~0時の時刻表から抜粋し制作しました。東北方面→緑、上越方面→黄、信越方面→ピンク、常磐方面→青。当時の上野駅は、東北など各地域から東京へ期待に胸を膨らませて“集団就職”でやってくる学生たちの玄関口。当時を物語る映像や巨大ビジュアルもじっくりご覧ください。



### B 憧れのブルートレインヘッドマーク達



1970年代後半におきた、空前の“ブルートレインブーム”。夕方に東京駅から西に向かう人気の寝台列車ブルートレインなどの様々なヘッドマークが時を越えて集合。16:30「さくら」16:45「はやぶさ」17:00「みずほ」、当時のファンは出発時刻も覚えていました。

### C 国鉄分割民営化後初?!の大集合

日本がバブル景気に沸く1987年4月。国民的関心事として、国鉄が“分割民営化”された際に、各社が付けて走った貴重なヘッドマークが一堂に集まりました。本展示の為に、約2年間、全国を探索し探し出しました。今後おそらくこの7社のヘッドマークが共演することはないでしょう。

注目 POINT JR7社の社名表記に注目! “鉄道”の“鉄”の字が!?

### D 2つのヘッドマークの謎!?

当時、本州内と北海道内、または青函間でけん引する機関車が異なりました。その為、青森や函館などで先頭機関車が交代します。それぞれの車両用のヘッドマークが存在しています。

注目 POINT 上下2つの同じヘッドマークの違いに注目!

厳寒の北の大地を走り抜けてきた「上部」ヘッドマークの汚れや傷だらけの姿には、哀愁すら感じさせます。

裏面 **内周編** へ続く!



アンバサダーの中川家礼二さん、松井玲奈さんのアナウンスが聞ける!



### N コラボメニューが楽しめる! 天鉄展を楽しんだ後は天空駅カフェで!

「天空駅カフェ」では全国のご当地メニューが電車のドアをイメージしたケースに入ってでてくる、できたての“ドア弁”を始め、オリジナル駅そば、ご当地うどん、デザートなどがお楽しみいただけます。

### M ここでしか買えないオリジナルグッズや各地の駅弁を取り揃えた特設ショップにも立ち寄ろう!

本展のオリジナルグッズや、全国鉄道会社のグッズが大集合! 期間変わりで様々なご当地駅弁も販売しています。

特設ショップ

東京シティビュー  
スーベニアショップ

### L メトロ×ガチャガチャカフェ 地下鉄の懐かしいアイテムがいっぱいの空間でホットと一息

珈琲が楽しめる空間で、東京メトロと都営地下鉄が走る映像を見ながら、ゆっくりくつろぐことができます。

POINT①地下鉄ロゴバルーンの13路線全て言えたらメトロ通!?

POINT②入口の巨大「S」のオブジェは、営団地下鉄(現東京メトロ)の社屋に掲げられていたもの!

POINT③懐かしい自動券売機や改札機が登場!



### 注目 POINT

組み上げると首都圏地下鉄の全13路線図が立体的に完成するガチャガチャは今はここでしか出会えない! お見逃しなく!

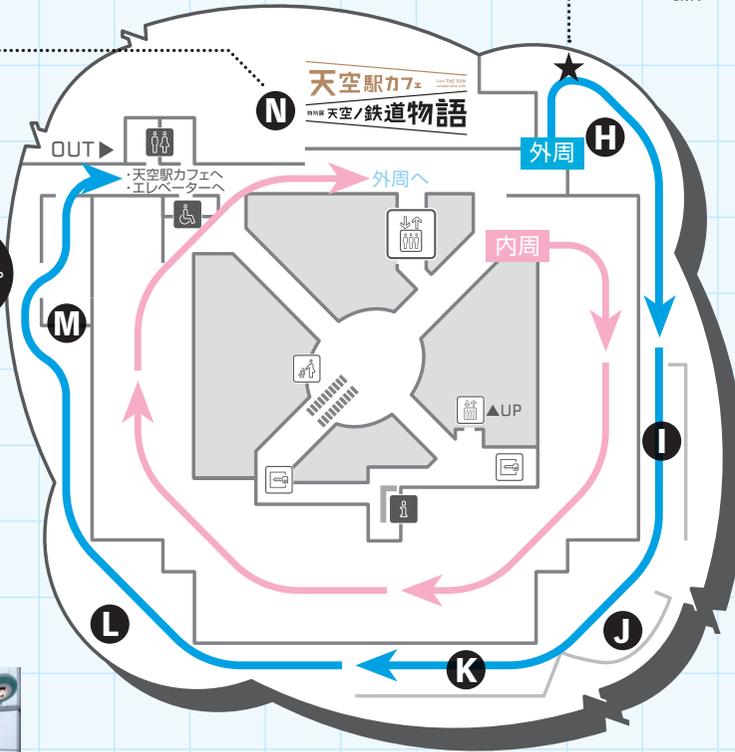


©やなせたかし/フレール館・TMS・NTV

### K 実際に座れる! フォトスポット! あのアニメに登場する世界を再現!

PHOTO SPOT

POINT①子供たちに人気のJR四国で走る「アンパンマン列車」の本物の座席にも座って写真が撮れます。  
POINT②2018年夏に公開された細田守監督作品「未来のミライ」に出てくる、空想の東京駅を再現! 映画で出てくる“黒い新幹線”のリアルな骸骨座席にも座れるよ!



### H 期間限定で出現した「天空駅」へようこそ! 夜空に描く、銀河鉄道の世界

PHOTO SPOT

天空駅では、段ボールで作られた精巧な1号機関車や、天空駅に入線してくる様々な車両をARで体験いただけます。日没後は、夜景に投影される、本展オリジナルの幻想的な映像と共に、海拔250mに展開する、天空駅と銀河鉄道の世界を存分にお楽しみください。



PHOTO SPOT

### I 触れて楽しむ! キッズもワクワク! 鉄道車両のドアを大フィーチャー。

全国19の鉄道会社、全29の車両扉が、壁面いっぱいに映し出されるインスタレーションが登場。扉に触れてみると、不思議なことが起きます。普段乗っている車両の扉があるかも? 探してみてください。そして、時間が経過すると、この空間が駅のプラットフォームに大変身!! あの列車も、この列車も入線?!

注目 POINT ベンチにも注目! 置かれているベンチは西武鉄道の駅で実際に使われていたものです。駅のベンチに座りながらあなたの前を通り抜ける列車をご覧ください。

### J 天空の鉄道物語 お宝コレクション

PHOTO SPOT

80年の長きにわたり愛され、「青函トンネル」の開業に伴い1988年に終航した『青函連絡船』の模型を展示。船内で流れていた音楽も聴くことができます。その他にも、懐かしの路線や新しく開業した路線、縁起が良い駅名標など、珍しくて貴重なものを展示しました。

### 注目 POINT 青函連絡船&駅名標に注目!

かつてJRが管理していた『青函連絡船』。連絡船には鉄道車両を船内に収容して運行もしていました。様々な駅名標の展示では、恋に効きそうな駅名にも注目!



©NTV